

平成30年度不祥事根絶委員会委員による学校視察

1 さつま町立鶴田小学校

- (1) 期 日 平成30年9月20日（木）14:20～15:50
- (2) 視察者 富田 恵子 委員， 田中 佐和子 委員
- (3) 内 容 授業参観， 学校の取組状況説明， 意見交換
- (4) 委員の感想等
 - ・ 全職員一丸となった取組がなされていてよい。
 - ・ ケーススタディは， 教職員自身が体験したヒヤリハット等の具体的場面を設定すると効果的である。
 - ・ 違法薬物に関する犯罪は遠い存在ではない。 ネット等を用いて身近に入手できる。
 - ・ ストレス軽減のためには「ビルド」の前に「スクラップ」の視点が必要である。



2 鹿児島市立長田中学校

- (1) 期 日 平成30年9月26日（水）14:00～15:30
- (2) 視察者 三嶋 暁 委員， 川畑 正和 委員
- (3) 内 容 授業参観， 学校の取組状況説明， 意見交換
- (4) 委員の感想等
 - ・ 職員がアンケートに本音で回答できる雰囲気があつてよい。
 - ・ 長時間勤務は簡単に減るものではなく， 表面上の数値だけの改善に気をとられないことが大切である。
 - ・ 地域との密接な関係が構築されていると不祥事の発生率が低下する傾向にある。
 - ・ 組織内における不祥事は周囲のフォローにより減少する。 相手を信頼し， 自分自身を信頼できる環境づくりが大切である。

